

日本佛教学会叢書

人間とは何かⅡ

にほん ぶつきょうがつかい

日本佛教学会編

▼A5判上製カバー・四四六頁・本体六、六〇〇円十税

2019年3月刊行



移植・延命・人工知能など、「人間とは何か」が問われる現代に、仏教はいかに答えていくべきか。仏教の人間観をあらためて追究した、日本を代表する仏教研究者たちによる最新の研究論考。

はしがき

《論文》

現代社会における人間の欲望―インド仏教思想を手掛かりとして―(石田尚敬)／人工知能を有情と見なすことは可能か(師 茂樹)／道元禅師の人間観(角田泰隆)／「心」と「身」と「世界」の再構築に向けて―天台教学の視点より―(塩入法道)／仏教・真宗の生命観―人権・平和論への一視座―(高田文英)／浄土教における仏と人間(曾和義宏)／罪と懺悔(吉田実盛)／日蓮教学における罪と救い(原 慎定)／「群萌」あるいは「蛸飛蠕動之類」―平等で多様な「弱きいのち」の連帯へ―(井上尚実)／近代日本における縁起説論争にみる人間観―説一切有部の三世両重解釈をめぐって―(一色大悟)

《セッションコメント》

セッションNo.1の発表に対するコメント(養輪顕量)
セッションNo.2の発表に対するコメント(中島志郎)
セッションNo.3の発表に対するコメント(一楽 真)
セッションNo.4の発表に対するコメント(野口圭也)
セッションNo.5の発表に対するコメント(三輪是法)

《発表要旨》

セッションNo.6の発表に対するコメント(龍溪章雄)
セッションNo.7の発表に対するコメント(矢島道彦)
セッションNo.8の発表に対するコメント(藤堂俊英)

医療現場における仏教者の現状(村瀬正光)
密教における人間存在(奥山直司)

《論文》

仏典が伝える人間の「生活」―フィールド調査と「伝統的」食品加工の再現実験、並びに文献との照合を通じて―(西村直子)／病者の家族による臨終の準備―近世「往生伝」と現代の事例を比較して―(安達俊英)／ジャイナ教聖者伝の展開と人間観の変容(山畑倫志)／古典インド思想における言葉と人間(藤井隆道)／親鸞浄土教における人間と浄土―「浄土」と地球環境―(山崎龍明)／ネパール仏教におけるヴラタ(Vrata)について(スダン・シャキヤ)／不空罽索観自在マンドラにみる人間存在の二元性―ネパールの密教儀礼から―(佐久間留理子)

注文書	
(書店印)	
ご担当	様 冊
法藏館 日本佛教学会編 人間とは何かⅡ 日本佛教学会叢書 ISBN:978-4-8318-7726-0 C3315	
お名前	ご住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

仏 教